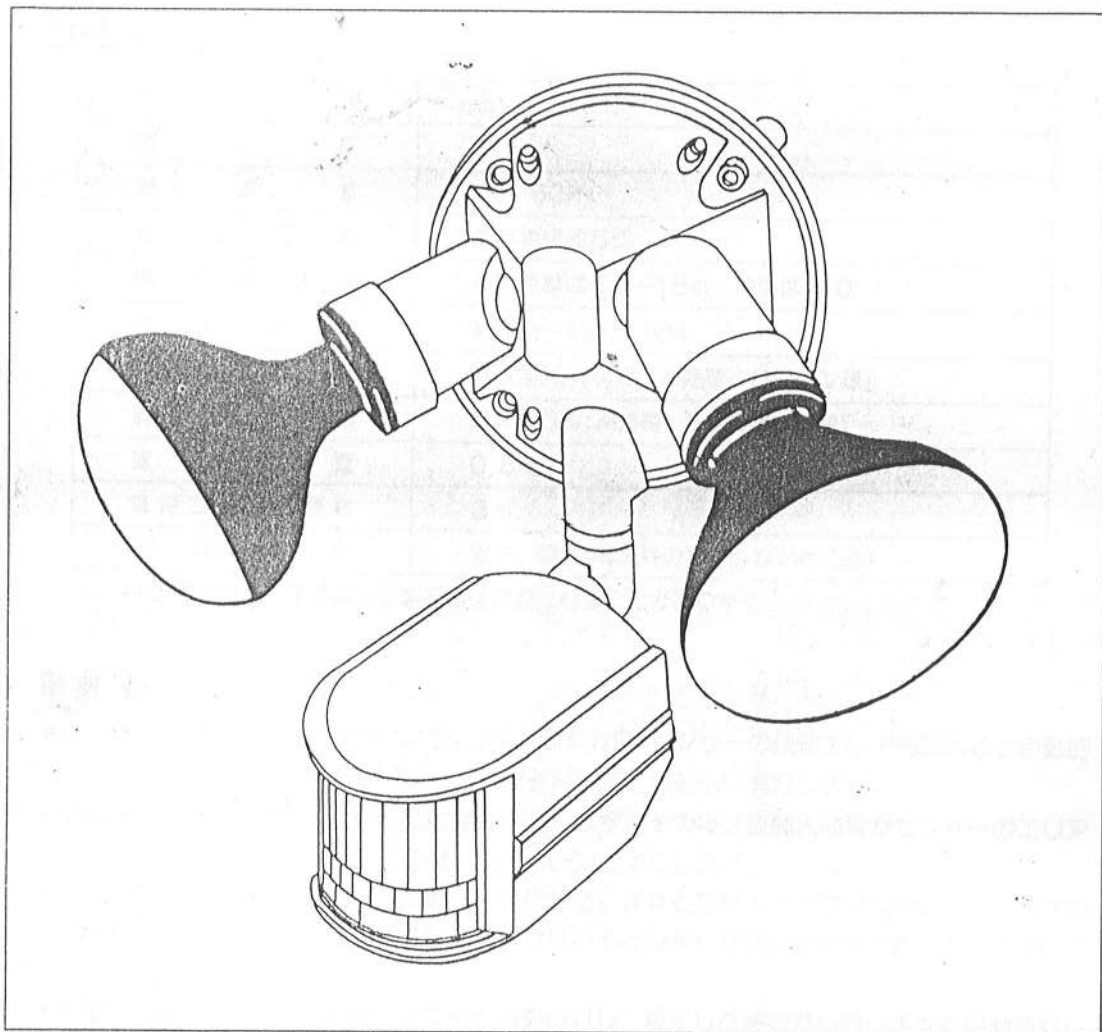


SENSOR LIGHT

センサーライト

SL-150C 取扱説明書



このたびはセンサーライトSL-150Cをお買上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保存してください。

■ ご使用上のご注意

- 電圧が100Vであることを確認して下さい。
- 電球はセンサー部に接近させないで下さい。
- 電源コードが短かくて、延長コードを使用するときは、10m以内は1.25㎡、20m以内2.0㎡のコードを使用して下さい。
- 電球は白熱電球かハロゲン球をご使用下さい。
電球の容量 150W×2ヶ以内、(同じW数のもの)
- 電球の取り替えは電源を切ってから行なって下さい。
- 故障の際は分解せずに販売店、又は当社にご用命下さい。
- 本機は完全防水型ではありません。雨水等のかかる場所には取付けないで下さい。

■ 仕様明細

型番	SL-150C
電圧	100V
周波数	50/60Hz
検知方式	赤外線検知方式
検知エリア	(約)距離は3m~15m 角度は110°
点灯時間	約5秒~12分、連続
開閉能力	最大300Wまで、(白熱球、ハロゲン球)
消費電力	最大5.3W(消灯時) 300W(使用時)
重量	0.8kg
電源コードの長さ	3m
設置場所	屋内、屋外(雨水等のかからないところ)

※改良のため、予告なしに製品の仕様がかわることがあります。

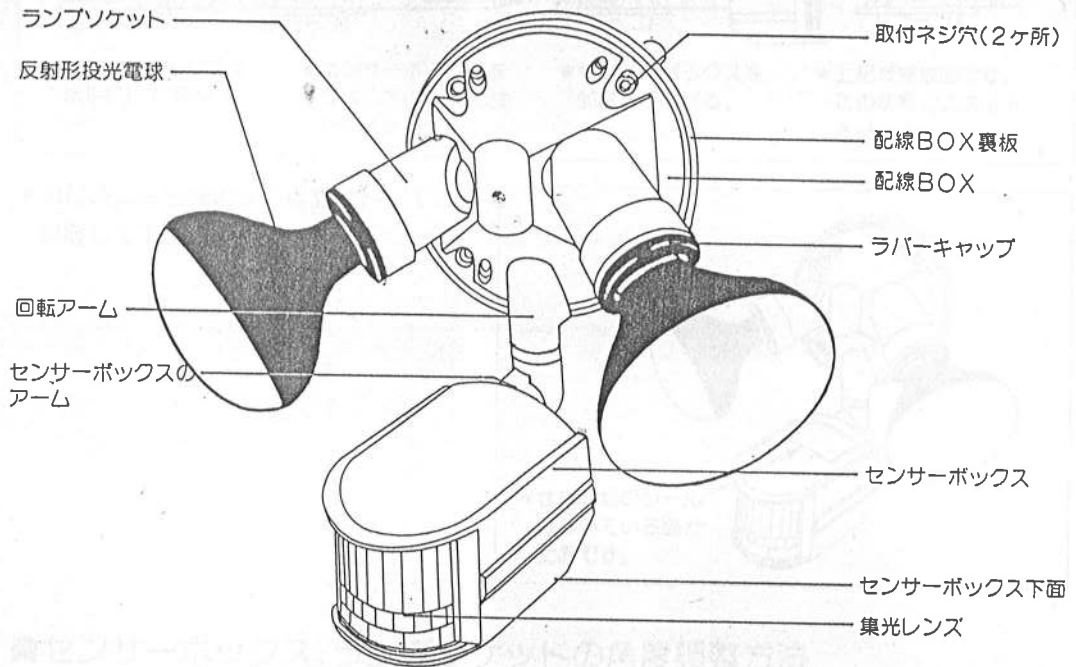
■ 特長

- センサーライトは赤外線検知により、人間(動物)が、センサーの検知エリア内に入ると自動的に点灯して、設定した時間(5秒~12分)が過ぎますと自動的に消灯します。
- 夜間の連続点灯ができ、夜明けには自動消灯します。その後は夜間人間等がセンサーのエリア内に入るとタイマーで設定した時間(5秒~12分)で点灯します。
- 人の出入りする場所(ご家庭の玄関、門等)に設置しますと夜間人が近づけば自動点灯しますので、安全で防犯にもなります。そして、人が離れると設定した時間経過後自動消灯しますので節電になります。
- 車庫に設置し、夜間車が車庫に近づくと自動点灯し、設定した時間が経過しますと自動消灯します。

■用 途

- 一般家庭の防犯、節電照明（住宅の門扉、入口、玄関、庭、ガレージなど）
- 車両の防犯（ガレージ、車の展示場、中古車センター、駐車場など）
- 無人店舗、無人倉庫、無人工場、無人作業場、資材置場、温室、学校、養殖場などの防犯や警告灯として。
- 夜間の商品の入荷、出荷の安全、保安灯に。

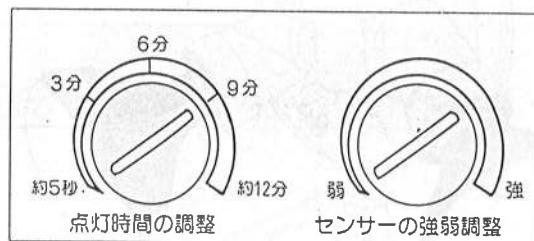
■部品の名称



■点灯時間の調整(タイマー)とセンサーの強弱調整ダイヤルについて

- センサーボックスの下面に下記のダイヤルがついています。

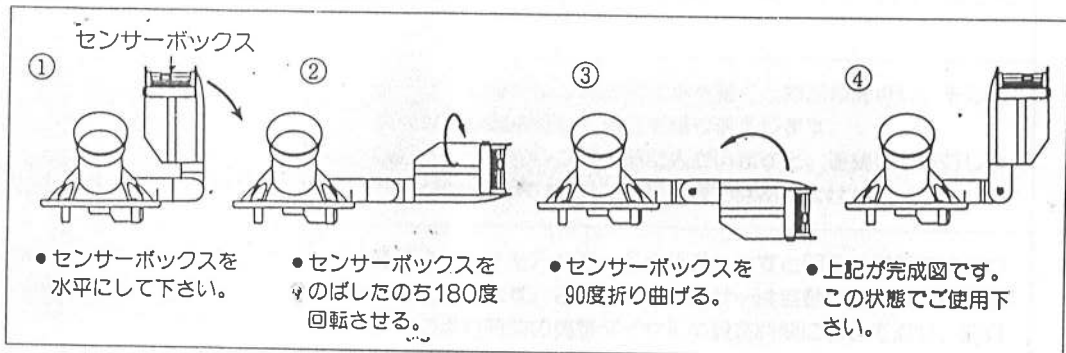
(注) 時間表示は目安です。



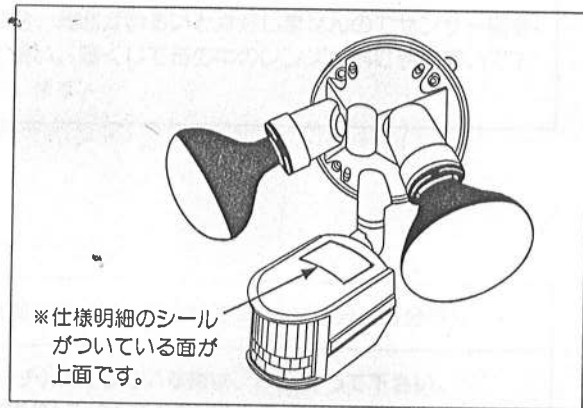
- 点灯時間調整ダイヤルはフリーです。5秒～12分の間で設定して下さい。
- 点灯時間の調整ダイヤルは右に回すと点灯時間が長くなります。取付前にテストをして確認の上ご使用下さい。
- センサーの強弱調整ダイヤルは、右に回すと強くなります。

■ センサーボックスのセット方法

- 梱包の関係でセンサーボックスの上下を逆にセットしてあります。
 - ご使用前に下図のように直してから設置して下さい。
- (注)仕様明細のシールが貼ってある面が上面、ダイヤルのついている面が下面です。
- センサーボックスの上下面の修正方法



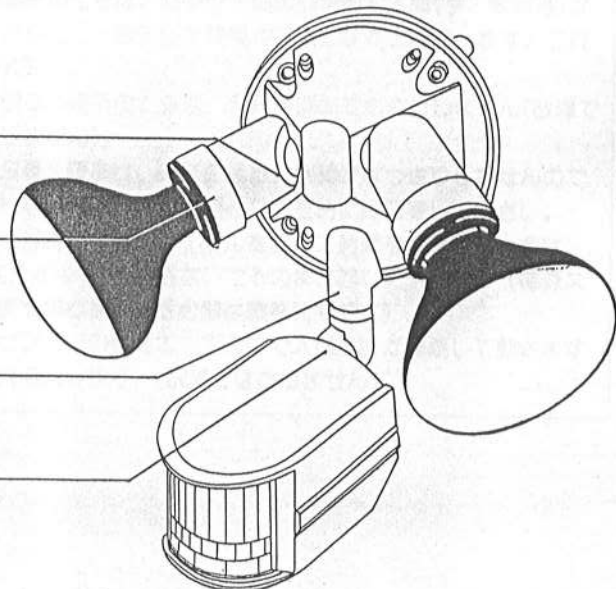
- 取付時には右図のようにセットしてから設置して下さい。



■ センサーボックス、ランプソケットの角度調整方法

(角度調整の各接続部にはストッパーがついていますので、無理に回転させますとストッパーが破損します)

- ジョイントの切り込み部によりソケットの角度を約40度変えることができます。
- ソケットの頭部は約300度回転させることができます。
- この部分は約300度回転させることができます。
- このジョイントは約180度角度を変えることができます。



■ご使用方法

●ご使用前の明るい場所での簡単なテスト方法

①点灯時間の調整ダイヤル	位置はどこでもOK。
②電源(スイッチ)	電源(スイッチ)が入っている時は、一度切って、約30秒後にスイッチを入れて下さい。
③センサーの反応	センサーの集光レンズの前に手を置くと約20秒間点灯。そして次から5秒間点灯して消灯を繰り返します。 (注)センサーのレンズの前に人がいますと、連続して点灯します。(手があっても同じです)故障ではありません。
④電源(スイッチ)を入れて約5分後	電源スイッチを入れて、5分経過しますと明るい場所では点灯しなくなります。この時からセンサーは自動に変わり、暗い場所での点灯時間の調整ダイヤルの設定時間に合せて点灯、消灯をします。 (注)この場合、周囲が明るいとは点灯しませんのでセンサー部を黒い布等で覆い、暗くして布の中のレンズの前に手を置いて下さい。点灯します。

●通常のご使用方法

①点灯時間の調整	ご希望の時間にダイヤルを合せて下さい(3分、5分等)。
②電源(スイッチ)	電源(スイッチ)が入っている時は、一度切って下さい。 約30秒後に電源(スイッチ)を入れて下さい。
③約5分間は調整時間	約5分間は前記のテストと同じように点灯消灯を繰り返します。 故障ではありません。
④約5分経過後	暗い場所のときは、センサーのエリア内で人間(手、動物等)が動くと点灯し、設定した時間が経過しますと消灯します。これでOKです。 (注)明るい場所のときは、5分経過後でも点灯しません(故障ではありません)。 (注)夕暮、夜明け、雨天の場合、明暗がはっきりしませんので点灯しない時は、周囲が暗くなった時に確認をして下さい。 (注)点灯時間の調整ダイヤルを回して時間を変更するときは、電源(スイッチ)を切らないでそのまま回して下さい。(電源スイッチを切りますと5分間は調整時間です) (注)センサーの検知エリアの中で人(動物)が連続して動きますと連続点灯します。(故障ではありません)

■ 夜間の連続点灯について

- ①電源(スイッチ)が入っているときは、一度切ってください。
- ②次に暗い場所で電源(スイッチ)をON(入)→OFF(切)→ONの操作をしますと連続点灯します。
- ③点灯後、夜明けになると消灯し、その後は点灯時間調整ダイヤルの設定した時間で点灯、消灯します。
- ④明るい場所で操作をしても連続点灯しません。

■ 簡単なテストと使用方法

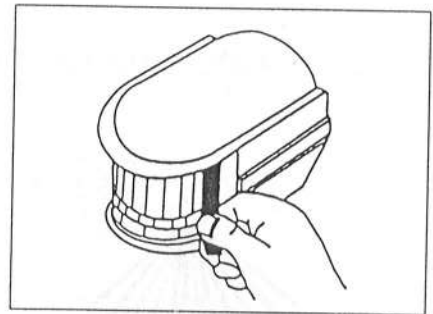
- ①暗い場所、明るい場所で電源(スイッチ)を入れて、センサーのレンズの前に手を置いて点灯すれば一応OKです。
- ②次に点灯時間の調整ダイヤルを希望の時間に合わせ取付けて下さい。
- ③電源(スイッチ)を入れて約5分間は調整時間。その後暗い場所では正常に作動。
(注) 明るい場所では約5分経過後点灯しない事をお忘れなく。
- ④点灯時間の調整は電源(スイッチ)を切らないで、そのままダイヤルを回して下さい。
- ⑤万一、正常に作動しない時は、当社にご連絡ください。ご説明申し上げます。

■ センサーの強弱調整

- センサーの強弱調整のダイヤルを右に回すと感度は強くなります。
- 検知エリアを遠くへ広げたい場合は強くして下さい。目安として距離は最大15m、最大の角度は110°。
- 検知エリアを狭く近く設定したい時は、左に回して弱くして下さい。

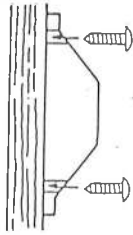
■ センサーライトの設置について

- 検知エリア内に反射しやすいもの(ガラス、水面、光沢の強いもの等)はできるだけ避けて下さい。
- 特別温度の高くなるもののそばは避けて下さい。
- ガレージ等で使用する時は、フロントガラス、窓ガラスの反射がありますので、設置位置や角度にご注意下さい。設置については、テストをして最も良い位置にするようにして下さい。
- センサーの検知の不要なエリア(犬・猫などの動物の動く場所)については、センサーの一部の不要部分に黒のビニールテープを貼って下さい。
- 本機を設置する時は水平になるようにして下さい。
- 電球は常に左右2ヶセットして下さい。

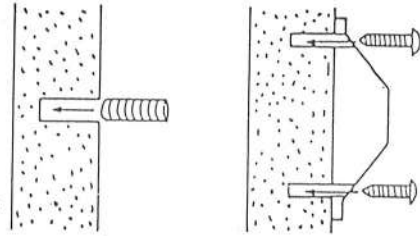


■取付方法

- 取付場所が決まりましたら、本機をその場所に置いて、検知エリアの確認をして下さい。
 - 取付穴は配線BOXのケースに2ヶ所あります。その中に木ネジを差し込んで、しっかり止めて下さい。
 - コンクリート面に取付ける時は、コンクリート面にドリルで穴をあけ、プラグを差し込んでから木ネジで固定して下さい。
 - 鉄部に止める時は、鉄部に電動ドリルで穴をあけ、適当な太さのタッピングネジで固定して下さい。
- (注) プラグ、木ネジはカートンの中に入っています。



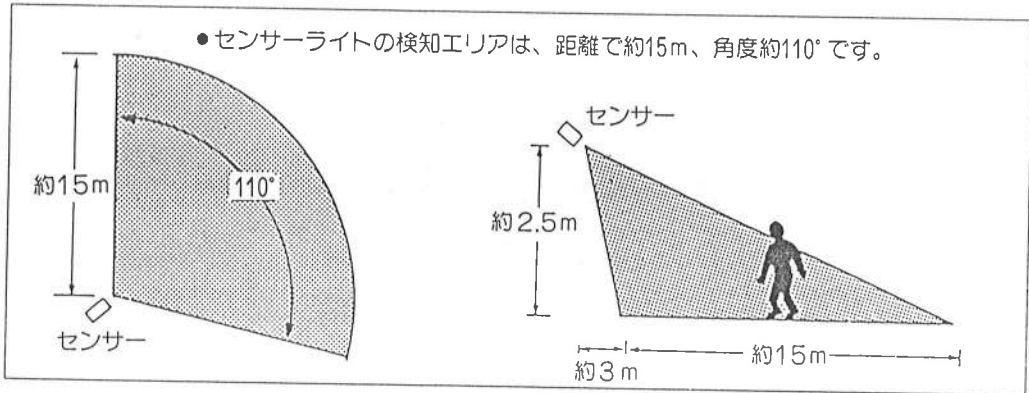
①木柱への取付
付属の木ネジでしっかり止めて下さい。



②コンクリート壁へ取付ける場合

- ドリルで穴をあけて下さい。6%×25%
- プラグを打ち込んで下さい。
- 木ネジで固定して下さい。

■センサーライトの検知エリア



■センサーの効率の良いご使用方法

- センサーを取り付けるときは、センサーの光線を横切るように取り付けるのが効率的です。下図を参考にして下さい。

